

わくわく橘っ子



人権教育便り
NO. 1
令和4年5月

～家庭人権学習の日～

阿南市では、毎月第一日曜日を「家庭人権学習の日」とし、人権に関することをおうちで話題にさせていただくことを啓発しています。このお便りをきっかけに、親子で考えていただけたらと思います。

「人権・いじめ防止委員会」って？

橘小学校の委員会活動の一つとして、「人権・いじめ防止委員会」があります。5年生、6年生の委員会の児童自ら、様々な活動を行い、人権の大切さやいじめ防止について学校全体に呼びかけています。活動の内容をお知らせします。

①あいさつ運動

あいさつは、ほんの一瞬で「あなたの存在を知ってるよ。認めてるよ。あなたのこと、大切に思ってるよ。」というサインを相手におくることのできる素敵な言葉です。そこで、毎週の火・木曜日の朝、人権・いじめ防止委員会の



メンバーが児童玄関に立ち、登校する子どもたちに、「おはようございます！」とさわやかにあいさつをしています。児童玄関に子どもたちの元気な「おはよう。」が響き渡り、みんなが笑顔で気持ちよく一日をスタートしています。

火曜と木曜の全校放送で、自分からあいさつしてくれた児童の名前を読み上げることで、あいさつの大切さを学校全体に呼びかけています。

②ありがとうの手紙

忙しい日々の中で相手のちょっとした優しさにふれ、感謝の気持ちを伝えたいとき、ありませんか？

そこで、人権・いじめ防止委員会では、「ありがとうの手紙」を全校児童に募集し、全校放送することで、「ありがとう」の気持ちを学校中に広めています。



放送された「ありがとうの手紙」は2階廊下に掲示していきます。

春は、学校生活のお手本として、5・6年生が中心となって「ありがとうの手紙」を書いてくれました。

「1年生〇〇さんへ
一緒にサッカーしてくれてありがとう。また、遊ぼうね。 5年〇〇より」

「4・5・6年生のみなさんへ
サッカーに入れてくれてありがとう。僕が蹴るとき、みんなが待ってくれました。 1年〇〇より」

「5年生〇〇さんへ
勉強が分からないとき、いつも教えてくれてありがとう。 5年〇〇より」

「6年生〇〇さんへ
図書委員会の仕事を手伝ってくれてありがとう。助かったよ。 6年〇〇より」

「6年生〇〇さんへ
話題をふったとき、答えてくれてありがとう。うれしかったよ。 6年〇〇より」

③「ふわふわことば」 「ぎざぎざことば」

相手を思いやる、相手も自分も優しい気持ちになれる言葉を「ふわふわことば」として、廊下に掲示し、全校児童に「こんな言葉で友達とコミュニケーションしよう。」と呼びかけています。

反対に相手の容姿について言う、相手を不快にさせる、傷付ける言葉は、「ぎざぎざことば」として、言わないように呼びかけています。

自分は何気なくつぶやいても、相手が嫌だと思ったらそれは「ぎざぎざことば」として、いじめになるんだ、いじめは許さないという心のアンテナをいつも張っている人権意識の高い橘っ子がいるために、これからも人権・いじめ防止委員会は活動していきます。

